

(設置)

兵庫県において関係する自治体が一体となって水素の社会実装に向けた取組を進めることを目的に、県と市町及び市町間の連絡調整を図るため、「水素社会実装をめざす兵庫県自治体連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）」を設置

(所掌事項)

連絡協議会は、水素の社会実装に向け、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 大規模水素貯留基地の姫路への誘致などに関する連絡調整。
- (2) 水素利活用に関する連絡調整。
- (3) 国等への要望活動に関する事。
- (4) 普及啓発に関する事。
- (5) 海外の地域・都市との連携に関する事。
- (6) その他水素の社会実装に向けた取組に関する事。

1. 第1回会議（R4年3月29日）※「連絡調整会議」として実施

(1)連絡調整会議設置

構成員：兵庫県、神戸市、姫路市、尼崎市、高砂市

(2)県・市における取組についての情報共有

【兵庫県】

推進構想、推進協議会での取組、R4年度予算概要

【神戸市】

NEDO事業（水素ガソリン・神戸CGS・神戸港CNP等）、海外連携など

【姫路市】

主な取組（水素ステーション、水素バス）、R4年取組（FCV補助等）

【尼崎市】

尼崎市気候非常事態行動宣言（脱炭素社会に向けた尼崎市の取組）

【高砂市】

エネジートランションの取組（三菱重工業(株)高砂製作所）

2. 水素関連施設見学会の開催【8/8・8/10】※神戸市・兵庫県共催

(1)開催目的

水素社会を支える関連産業の集積、水素の受入・供給基地の臨海部での立地、及び過疎地へのエネルギー供給を行う社会を見据え、自治体職員（幹部職員）向けに学ぶ機会を提供

→ 水素関連の取組を行う自治体の拡大（「連絡協議会」へ参画を促す）

(2)見学施設

- ・ 液化水素運搬船「すいそふろんていあ」（川崎重工業(株) 神戸工場）
- ・ 神戸液化水素荷役実証ターミナル（神戸空港島）
- ・ 水素CGS実証プラント（ポートアイランド島内）

※施設見学会前に川崎重工業(株)より「水素サプライチェーン実証事業」等のプレゼンテーションを実施

【参加自治体等】

■市 町 9市町 18名

〔姫路市、加古川市、高砂市、明石市、尼崎市、西宮市、丹波篠山市、洲本市、神戸市（事務局）〕

■兵庫県 関係部局 4部 16名

〔環境部、土木部、産業労働部・企画部（事務局）〕



液化水素運搬船
「すいそふろんていあ」



神戸液化水素荷役実証ターミナル

3. 構成員の追加等（R4年10月13日）

- ・ 加古川市、洲本市、南あわじ市、淡路市を追加
- ・ 「連絡調整会議」を「連絡協議会」に改組

4. 協議会での今後の取組予定

- ・ 第2回を10月13日に開催

<内容>

- ① エネ庁講演「水素・アンモニアの商用サプライチェーン支援制度」
 - ② 関電講演「水素社会実現に向けた取組み」
 - ③ 意見交換
- ・ 開催頻度について、当面は隔月開催
 - ・ 協議会に参画していない市町も対象とした水素勉強会を開催

（第1回勉強会を10月31日に開催。以降、当面は毎月開催する予定）

<勉強会の目的>

水素に馴染みのない市町が協議会に参画する契機となるよう、
水素に関する国内外の動向や県内の取組について、学ぶ場を提供